



おもしろい劇団カタコンベ

今月号の表紙に紹介されたとおり、劇団カタコンベの公演が決まり、現在、SNKでもチケットの販売や会場準備などに取り組んでいます。

毎週火曜日と金曜日がけいこ日ということで、先日見てみましたが、まだ台本ができていなかったため、それらしいけいこは見られませんでした。でも、柔軟体操や発声訓練など、とてもしっかりとやっています。

現在は、台本もでき、毎日のようにけいこをしているようです。見学、入会を歓迎するそうですので、ぜひ行ってみてください。場所は電鉄、焼鮎駅の前の大きな倉庫のような建物です。詳しくは ☎377-1626 か 233-7456 へ。

古いエレクトーンをあげます

10年ほど前のエレクトーンをほしい人はいませんか。無料です。運搬費(2000円ほど)を負担していただければたすかります。問い合わせは ☎社会教育課 ☎377-3101 へ



エレクトーン (ヤマハ)

毎週火曜日と金曜日がけいこ日ということで、先日見てみましたが、まだ台本ができていなかったため、それらしいけいこは見られませんでした。でも、柔軟体操や発声訓練など、とてもしっかりとやっています。



各地のたこを展示

年末調整説明会

11月14日(月)

平成6年分源泉所得税の年末調整説明会が、巻務署の主催で開催されます。ご注意ください。今年度の改正点、特別減税事務の留意点などの説明がありますので、ぜひご出席ください。なお、個人青色申告については後日説明会があります。☎11月14日午後2時～ ☎農村環境改善センター



遊びのひろば グランドゴルフをしよう

▶日時 11月12日(土)午前10時~12時
▶対象・定員 小学4年生以上10人 (申し込み順)
※体育の服装、室内運動ぐつを持参してください。
▶会場・申し込み 北部地区公民館 (☎232-0077)



寿通信

第18号

すばらしい白根市の大風と歴史の館

体育と文化の秋です。寿学級では、運動会と文化財めぐりを行いました。恒例の運動会は九月二十八日、体育部の主催で、環境改善センターで行いました。四十七人が参加してジャンケンで紅白に別れて団体戦。励まし、慰め、いたわり合ったの珍プレーの続出し、会場は爆笑の渦でした。競うことで勝敗を意識します。一進一退、気をゆるめられませんか。白が優勢で、紅の負けか。最後のボーンナレースに賭けます。レースは紅がふり切り、総合得点は……同点です。今年引き分け、紅白ともに拍手の交換。爽やかな気分です。勝敗にこだわる必要はないのです。又、来年、心身を

入会希望は社会教育課へ 377-3101

とのない感動に遭遇することでしょう。この素晴らしい克服感・充実感・爽快感こそ、まさに登山の醍醐味なのです。中高年の登山の愛好者には三つのタイプが考えられます。まず、若いときから継続して登山を行っている人、次に、若いときに登山を行っていたが、その後中断して中高年に

なつて再び登山を始めた人たちは、若いときの現実の認識にズレが生じるので注意を要する必要があると思われまます。三つ目は、中高年になって登山をはじめた初心者です。全般的に登山の知識・技術・体力が不足しているはずで、このように、一口で中高年の登山の愛好者といっても、いろいろなタイプがあり、登山

を行う理由も様々です。もし、これから登りたいと考えている方がいたら、自分の技術や体力を熟知し、他の経験者の意見を聞き、登山者相互の和を保ち、観光やレジャー感覚ではなく、無理せず、ユックリと永く続けることが肝心だと思います。あなたの健康は、自然満載の山で養いましょう。



今月の投稿

町民登山を終えてー中高年の安全登山に想うー

今年の町民登山は、恒例により十月の第一日曜日に実施した。笹神の五頭山へ挑むのだが、例年だと小学生から年輩まで大勢の希望があったが今年には、熊鷹動のせい、多少の経験者のみで参加しただけで子供たちもいなく、今一つ何かが欠けた感じがした。登山道は、懸念するほど危

険ではなく、熊も時期になれば、木の实を求めて従来のナワバリの行動範囲に戻って行くからである。とにかく山を通して、初恋の味と美味しいオニギリで、参加者相互で楽しい一日を過ごしました。登山は、高山に挑戦したり、低山でハイキングを楽しむんだり、動植物などの自然を

観察したりで、その楽しみ方は人によって様々です。近年、標高二千メートルを越える高山でさえ、四季を違わず中高年の人々が「体力づくり」と称して、山頂を目指している姿が目につきます。たしかに、雪に被われた静かな尾根、新緑・昆虫が目覚める春、高山植物の咲き誇

り涼風の夏、高く青い空紅葉の続く林道、といったように、山はいつでも、それぞれの趣の違った感動を与えてくれることでしょう。それにも増して、低いところから遥かな頂きを目指し、一步一步、息を切らして山道を登りつめて、頂上を極めたときの喜びは、生涯忘れられること

黒崎山の会

町民登山を終えてー中高年の安全登山に想うー

今年、町民登山は、恒例により十月の第一日曜日に実施した。笹神の五頭山へ挑むのだが、例年だと小学生から年輩まで大勢の希望があったが今年には、熊鷹動のせい、多少の経験者のみで参加しただけで子供たちもいなく、今一つ何かが欠けた感じがした。登山道は、懸念するほど危

険ではなく、熊も時期になれば、木の实を求めて従来のナワバリの行動範囲に戻って行くからである。とにかく山を通して、初恋の味と美味しいオニギリで、参加者相互で楽しい一日を過ごしました。登山は、高山に挑戦したり、低山でハイキングを楽しむんだり、動植物などの自然を

観察したりで、その楽しみ方は人によって様々です。近年、標高二千メートルを越える高山でさえ、四季を違わず中高年の人々が「体力づくり」と称して、山頂を目指している姿が目につきます。たしかに、雪に被われた静かな尾根、新緑・昆虫が目覚める春、高山植物の咲き誇

り涼風の夏、高く青い空紅葉の続く林道、といったように、山はいつでも、それぞれの趣の違った感動を与えてくれることでしょう。それにも増して、低いところから遥かな頂きを目指し、一步一步、息を切らして山道を登りつめて、頂上を極めたときの喜びは、生涯忘れられること

街かど

募集しています

- 短歌
 - 俳句
 - 詩
 - 随筆
 - イラスト
 - 写真
 - まんが
 - その他
- 町への意見や要望も受け付けます
- 文章は苦手という方は連絡を取材に行きます
- 匿名もよいです
- 投稿・連絡先は 黒崎町大野284-1 広報「街かど」係 ☎377-3101

短歌

黒崎短歌会

草木萎えし猛暑の庭にあてやかに百日紅の紅の映ゆ 笠原 セツ

事故死せし姪のお通夜の西空に赤き三ヶ月妖しく浮かぶ 大谷 モト

病床の兄は黙して我みつめやがて悲しく眠るます 泉井 ヨ子

台風のすぎし朝の雲光り積き声の山鳩の啼く 竹中千代子

あてやかに浴衣に着替え花火見し夢多かりし二十の私 大矢 キイ

幸福ははなれて生活す子や孫と食卓かこみ集う一刻 永田キヨイ

送別の宴に向かうバスに見る夕日は赤し我が心染む 小出美喜子

嫁に来る娘を訪う吾子にその祖母は野菜たづねり荷造りくれし 阿部 淨子

俳句

黒崎俳句会

孫の女の水泳大会応援し一位となりて我飛び上る 長谷川トリ

夕風の風を便りに裏みちに暑さしのげば蟬の去り行く 柴垣 きみ

今建ちし芽の輪の匂う輪をくり妻と家族の安全祈る 山田 卯八

久々の夕立すきて庭の面に秋立つけはい虫の音のする 上山 恵子

祈りかけて狭の欲しき野菊かな とし松

送り出て母と仰ぎぬ小望月 秀子

篆刻の手を休めれば秋の風 文雄

栗蹴ればカラカラと鳴り宿の下駄 翠

白壁の影を見てある秋思かな みよし

朝雲広がる村を遠くから モト

百日紅遊女の句碑に花こぼし 律子

草むらのわづかなりしが虫の声 義男

看取る夜の灯火消せば良夜かな 代香

見る限り風のす、きや信濃川 憲治

名月や枝ごとのへし松の上 一翠

蝗捕りせしは昔の畦を行く 多佳

俳聖の苔むす句碑に夏落葉 千エ子

鶏頭の燃えて暮色に包まれず トシ子

ひつじ草池塘に深む秋の色 富代

夕映えの土手をふさぎし花芒 弘子

道草の子等も摘みおぼろじらし 信子

朝顔の売家となりし庭に咲く 玲子

誕生日を忘れて祝はるる さい

笛を吹き月を愛でたる父を恋ふ 麻世

朝市や夫の好物芋蓼買ふ 洋子

蜻蛉の高く飛び交ふ無人駅 友佳

わこじらしの草よりぬきん出し 成子

銀杏の落つる音あり夕さるる 千里

秋茄子小さくなりし母の背 飛浪

田仕舞ひの榎殻を焼く煙かな 素明

こしひかり 高く積み上げ 秋麗ら 小林 藤司

10月も 中旬となり 冬近し 小林 くに

腰二重老人カーにゆたねつつ 老の痒む燃ゆる落日 小林 信

夕ぐれのみちかごまがりむかい 風まごもにうけて坂をのぼりぬ 板井 綾子

新潟県最低賃金

これより下では、レッドカード!

平成6年10月1日から

1日 **4,604**円

(時間給の場合) 1時間 **576**円

新潟県労働基準局・新潟県労働基準監督署

税を知る週間

11月11日~11月17日

社会福祉の充実、道路の整備など、国や地方公共団体の活動の財源となる税金は、私たちが負担しなければならない会費といえましょう。国税庁では、広く国民の皆さんに税の意義や役割を正しく理解し、身近なものとして考えていただけるよう、毎年この期間を「税を知る週間」としています。巻務署では期間中一日税務署長による街頭広報など行います。巻務署